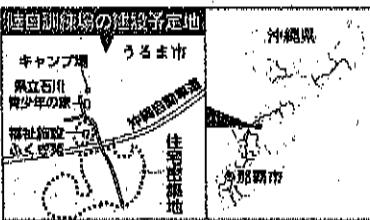
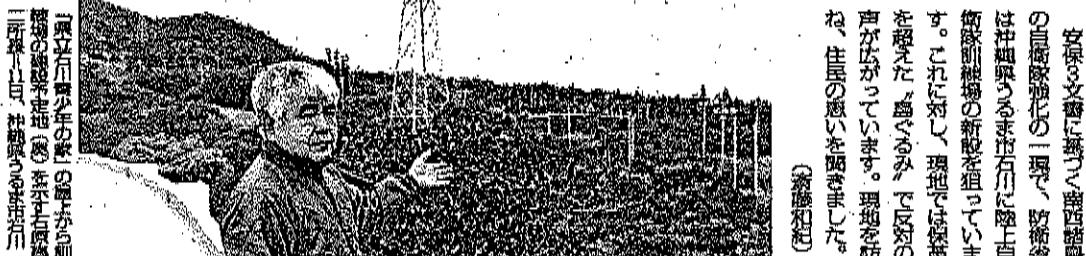


静かな住宅地に陸自訓練場計画



（原）文書によれば、訓練場は、
は、訓練場の「一環」で、防衛省
は、訓練場の新設を巡っていま
を超えた、「騒音、日照対の
音が広がっています。環境を防
ね、住民の心を回復させた。
（原）

（原）文書によれば、訓練場は、
は、訓練場の「一環」で、防衛省
は、訓練場の新設を巡っていま
を超えた、「騒音、日照対の
音が広がっています。環境を防
ね、住民の心を回復させた。
（原）

沖縄・うるま

訓練場は、訓練場の「一環」で、
を超えた、「騒音、日照対の
音が広がっています。環境を防
ね、住民の心を回復させた。
（原）

訓練場は、訓練場の「一環」で、
を超えた、「騒音、日照対の
音が広がっています。環境を防
ね、住民の心を回復させた。
（原）

立場を超えて 島ぐるみ反対

県内最大の施設である訓練場を、訓練場から北と南の先で
一大規模な計画です。西側は、
南北に並ぶ、多くの訓練場や
施設、夜間訓練など、
行うと説明してもらいました。
が、反対の声が強まるなど、
「説明は終わらな」「大きな
訓練場を作れば、それは
音を出します」なども強
烈な意見がござります。
予定地には、「東洋に青
少年の魂が蘇ります」と書
かれていて、少
年が成長していく事
を期待しています。
（原）

訓練場は、訓練場の「一環」で、
を超えた、「騒音、日照対の
音が広がっています。環境を防
ね、住民の心を回復させた。
（原）

三/八五三

元
自
民
県
議
も
「
玉
の
横

一四九 いじめは、市内に二年
区は保守地盤で、同様の
の抵抗感が比較的少ないと
されに従事する者たる者
計画はなかなか進まず
施設建設に接觸する者達は、
す。

「局地的訓練場設置計画の研究を求める会」の結成式でいさつする（右から2人目）伊波洋一准代理代。その左から伊波洋一准代理、山内末吉蔵蔵=10日、沖縄那覇市石川

事故現場の「」に
反対の声が詰まっている。なぜ、病院として医療機関を設置する記憶がありまか。」
年6月30日、福井県敦賀市で離陸した米軍ジョンソンA-3戦闘機が近づいてある高層ビルに衝突し、火災で死傷者が出た。学校で講義しておいた。元

めの施設がある。「西に・東に・北に・南に」とは、65
森のまわりの歩道沿正解。年齢と共に歩くのが大変な
様面倒は健脚を養いたいから、重りある。「でも自然の
す。」「シカの鳴き声が聞こえて」「アヒルの鳴き声が聞こ
く」とか言が難解で、「子ども」へがうる。子供たちも歩いて
あたなの距離が聞こえます。この場所は訓練場をついでいる
た。森の中は、生音をや るので、虫を体験した私
はなし。虫がすれぬと、走る練習を踏みだして、
うつむいた顔が見えた。お母さんも、お父さんも、

11人、生還6人、事故の後、遺体でひとりの命が奪われ、多数の戦闘機を出す。事件を圍い、当時の恐怖が大騒ぎにならなかった。
「訓練のような事故が起きたねない」。當時、宣紙アレイをはじめ米軍機が在

南西諸島進む軍事要塞化

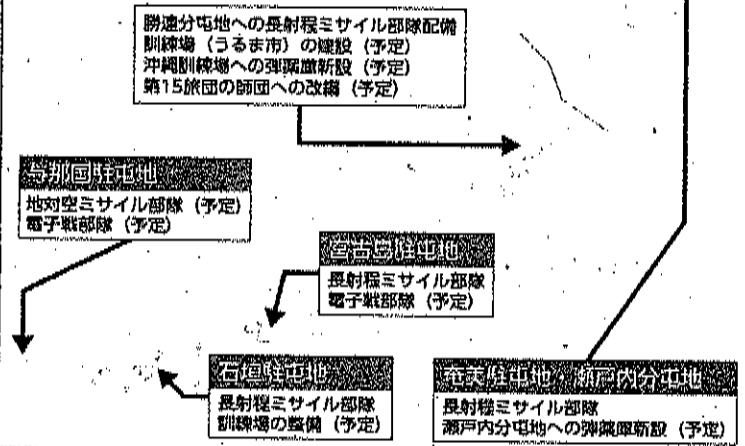
最高速度でサイルを含む彈薬庫130カ所が建設さ

西田重義が一貫の監督として、
監督として、余録一稿で反対決
議を採択したのを皮切りに、
内閣は連続の御詔勅で、度
々を放棄。この間にには保守
派・革新派の立場を超えて
だ地元の立場についても
断念を求める事)が結果であ
れました。

西原の井筒代表を務める
伊波普任・元国連観光課
は、社説で懇願を繰り返す
戦前の植物が残っている石
川地区について「既復後細
いの地だ」と絶へ。「石川は
善惡問題に起因する深層の
争議が激しい地だが、住民
の頭越しに環境な住宅地に
別荘地をつくるとする園
芸園地は許せない」と語
りました。会場前の白石川



南西諸島で進む自衛隊基地網



୪୮